

One世界インカム・オープン（毎月決算コース）

＜愛称：世界三重奏＞

（旧ファンド名称：D I AM世界インカム・オープン（毎月決算コース））

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年12月27日～2026年6月26日

第242期	決算日：2026年1月26日	
第243期	決算日：2026年2月26日	
第244期	決算日：2026年3月26日	
第245期	決算日：2026年4月27日	
第246期	決算日：2026年5月26日	
第247期	決算日：2026年6月26日	
第247期末 (2026年6月26日)	基 準 価 額	12,304円
	純資産総額	3,426百万円
第242期～ 第247期	騰 落 率	7.2%
	分配金合計	120円

（注1）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

（注2）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

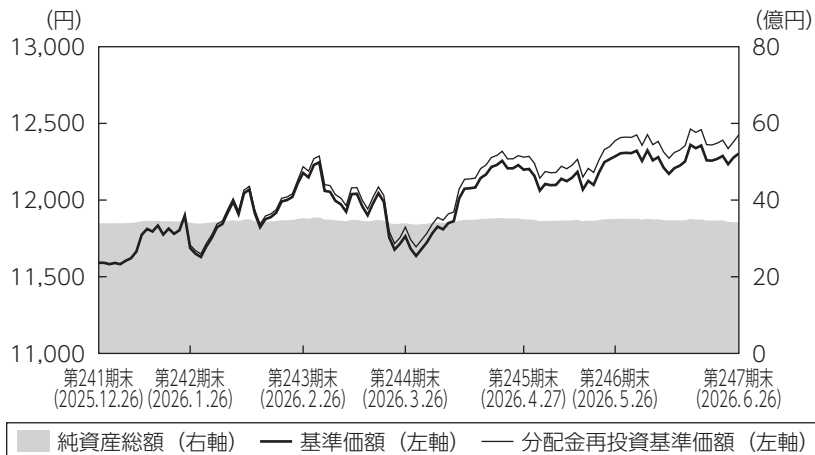
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

中東紛争を受けた原油価格の急騰などが嫌気される場面がみられたものの、米国の底堅い景況感が安心材料となったことや世界的にAI（人工知能）・半導体関連銘柄に対する期待が高まったこと等から外国株式市場が大きく上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったこと、米国の底堅い景況感等から米国を中心に多くのリート市場が上昇したことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド	4.7%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	11.1%
D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド	17.2%
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	7.6%

1 万口当たりの費用明細

項目	第242期～第247期 (2025年12月27日 ～2026年6月26日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	79円	0.656%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,004円です。
(投信会社)	(42)	(0.350)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(33)	(0.273)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.022	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.020)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.011	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.004)	
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	84	0.697	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

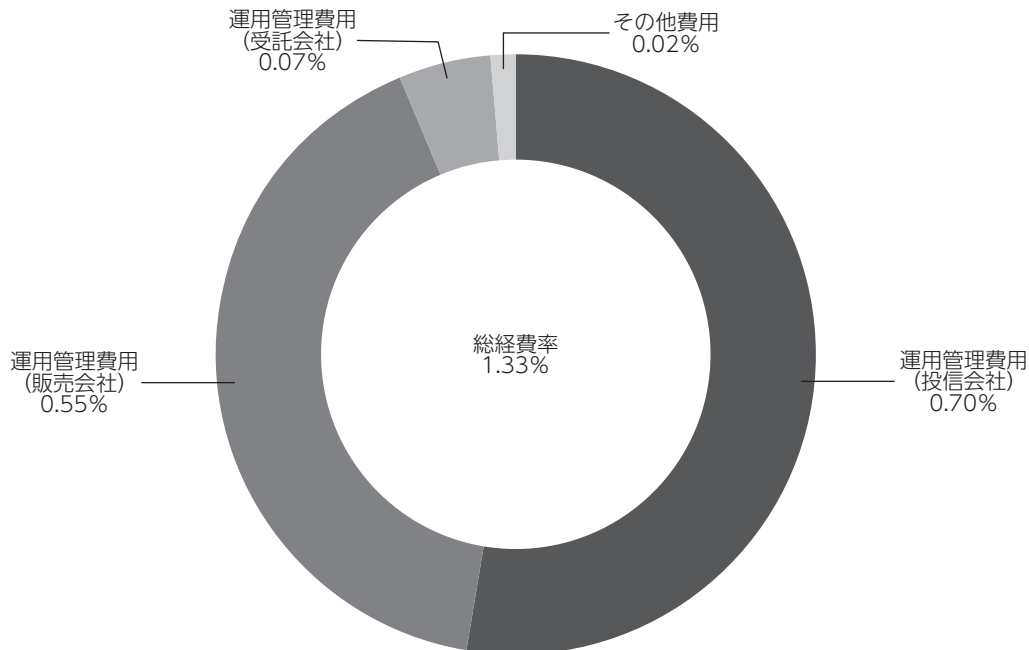
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.33%です。



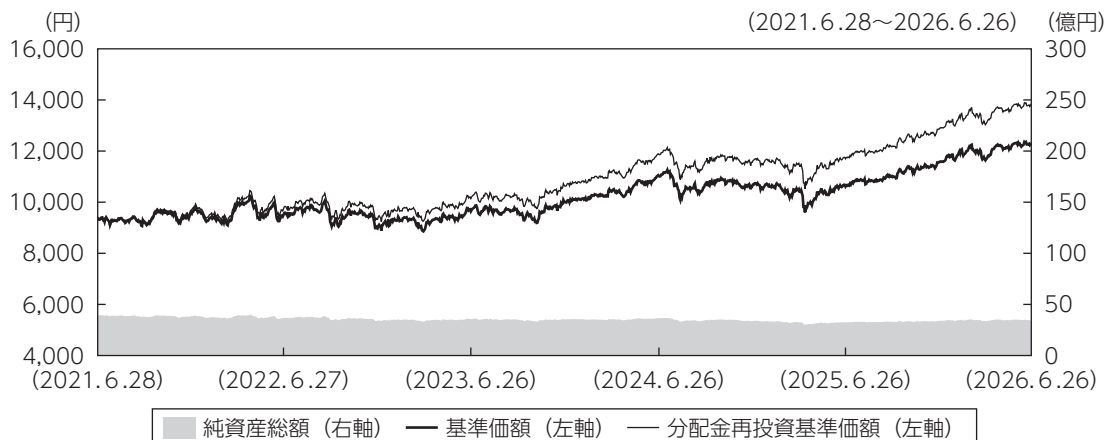
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2021年6月28日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年6月28日 期首	2022年6月27日 決算日	2023年6月26日 決算日	2024年6月26日 決算日	2025年6月26日 決算日	2026年6月26日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,401	9,499	9,638	11,018	10,609	12,304
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	3.6	4.1	17.1	△1.5	18.4
純資産総額 (百万円)	3,958	3,663	3,556	3,643	3,231	3,426

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

外国債券市場では10年国債利回りの動きがまちまちでした。2026年2月末に米・イスラエルがイランへの攻撃を実施すると、ホルムズ海峡が事実上閉鎖されたことで原油価格が急騰し、インフレ懸念が強まる形で世界的に国債利回りが上昇（価格は下落）しました。しかし5月半ば以降は米・イラン間の停戦交渉が進んだことなどから原油価格は下落に転じ、投資国の多くで利回りが低下（価格は上昇）に転じました。

外国株式市場は上昇しました。期初から2026年2月にかけては、F R B（米連邦準備理事会）の利下げや、A I（人工知能）・半導体関連企業の好業績などから上昇基調となりました。2月末からは、米国・イスラエルによるイランへの軍事攻撃を受けた原油価格の急騰などを背景に一時下落しましたが、停戦への期待や米テクノロジー大手の好決算などから大きく上昇して期末を迎えました。

米国リート市場は上昇しました。年明け以降に、A Iブームの資金流入などからデータセンター関連銘柄が牽引し、大きく上昇しました。3月に米国およびイスラエルによるイラン攻撃を受けて原油価格が高騰し、インフレ懸念が高まると急落したものの、4月には停戦期待の高まりから大きく反発し、上昇基調で推移しました。セクター別では、ホテル・リゾートやデータセンターなどが大きく上昇しました。

米国以外のリート市場は、まちまちの展開となりました。欧州市場では、保有不動産の評価額に対する割安感などから大陸欧州が上昇した他、英国も買収提案などを要因に上昇しました。アジア・オセアニア市場では、香港は春節期間の中国からの訪問者数増加や1－3月の中国G D P が市場予想を上回ったことなどを受けて上昇しました。一方でシンガポールやオーストラリアでは金融当局の金融引き締めを嫌気して下落しました。

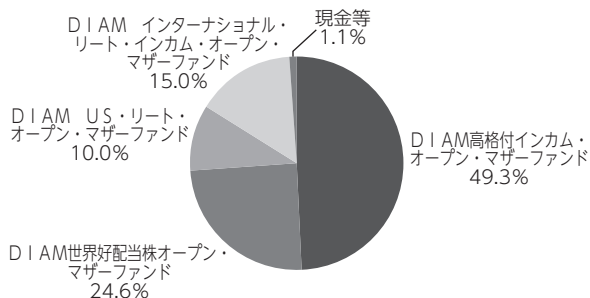
為替市場では円は多くの主要通貨に対して下落する動きとなりました。ドル／円相場は、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続するとの見方や本邦の財政拡張懸念などが円安材料となった一方、原油価格が急騰しインフレ懸念が強まったこと等で米国の利上げ観測が浮上したことがドル高材料となり、円安ドル高の動きとなりました。その他主要通貨に対しても、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続するとの見方や、本邦の財政拡張懸念などから円安現地通貨高の動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、外国債券（D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド）50%、外国株式（D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド）25%、外国リート（D I AM U S・リート・オープン・マザーファンド、D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド）25%を基本資産配分比率とし、各資産の組入比率が概ね基本資産配分比率に維持されるように資産配分を行いました。

○マザーファンド組入比率（2026年6月26日現在）



（注）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

●D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。デュレーション^{*}については、投資国および世界経済見通し、主要国及び投資国のインフレ動向や金融政策を勘案して調整を行いました。こうした中、当作成期末のデュレーションは前作成期末と比較して長期化しました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、前作成期末と比較してアジア太平洋のウェイトを引き上げた一方、北米のウェイトを引き下げました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、エネルギーやヘルスケアのウェイトを引き上げた一方、生活必需品セクターのウェイトを引き下げました。

●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達したとみられる銘柄については、適宜入替えを行いました。また、米国景気の先行きや米長期金利の動向も注視しつつ、長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。オフィスやヘルスケアなどの組入比率を引き上げる一方、住居施設や工業などの組入比率を引き下げました。

●D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入替えを行いました。地域別では、英国などの組入比率を引き上げる一方、オーストラリアなどの組入比率を引き下げました。また、セクター別では、混合型や工業などの組入比率を引き上げる一方、倉庫や住居施設などの組入比率を引き下げました。

■分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第242期	第243期	第244期	第245期	第246期	第247期
	2025年12月27日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月26日	2026年2月27日 ～2026年3月26日	2026年3月27日 ～2026年4月27日	2026年4月28日 ～2026年5月26日	2026年5月27日 ～2026年6月26日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.17%	0.16%	0.17%	0.16%	0.16%	0.16%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	1,897円	2,387円	2,390円	2,408円	2,496円	2,514円

- （注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- （注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドでは、各マザーファンドを基本配分比率に従い配分いたします。また、時価の変動などにより時価構成比が変化した場合には、定期的に基本資産配分比率に修正します。マザーファンドの組入比率についても高位組入れを維持します。

●D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った運用を維持する方針です。デュレーションについては、主要国および投資国の経済やインフレ見通し、合わせて金融政策動向の変化や利回り水準等を勘案しながら機動的に調整します。

●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

外国株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから短期的には不安定な相場展開も想定され、銘柄選択の重要性がより高まると考えます。配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別する運用方針を継続します。

●D I AM US・リート・オープン・マザーファンド

米国とイランの交渉は継続中であり、依然としてニュースによってマーケットが大きく振らされる展開も想定され、先行きが見通しにくい状況です。引き続き長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

●D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

米国以外において、欧州では相対的な割安感が下支えとなっていますが、中東情勢に伴う原油価格の変動もあり、金利は先行きが見通しにくい状態です。このような環境下、強力な価格決定力を持つ銘柄などへの投資を行っていく方針です。オーストラリア市場は、財務体質や成長性、配当利回りといった点に優れる銘柄を選別し投資する方針です。アジア市場は、優れた収益成長見通しと健全な資本管理を持つ銘柄を選別し投資を行っていく方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

- ファンド名称を「D I AM世界インカム・オープン（毎月決算コース）」から「One世界インカム・オープン（毎月決算コース）」に変更しました。

（2026年3月27日）

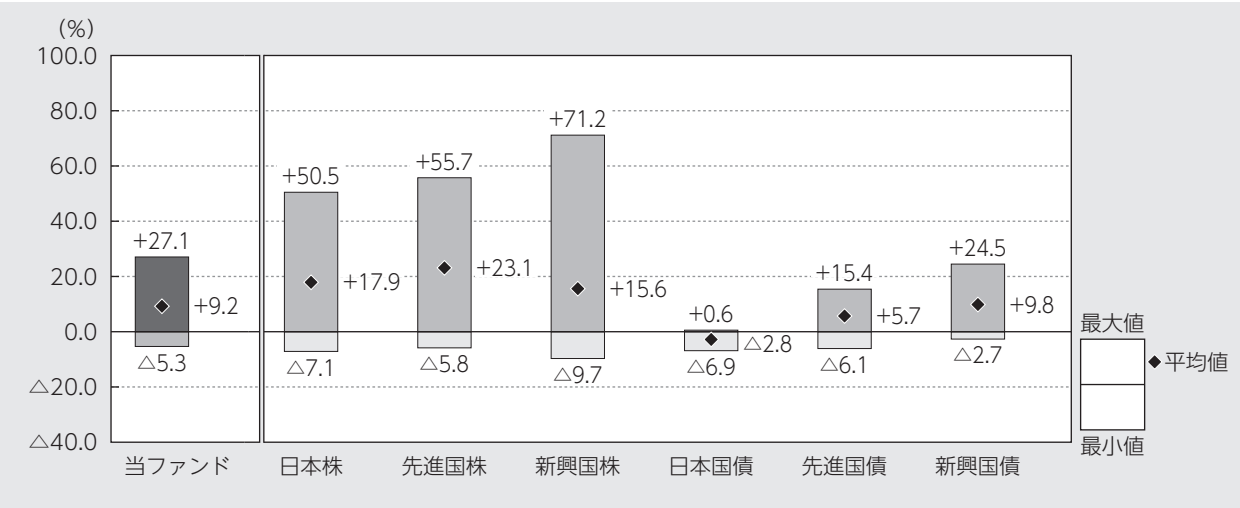
- 当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド」、「D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド」、「D I AM US・リート・オープン・マザーファンド」および「D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年4月1日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	2005年9月29日から無期限です。	
運 用 方 針	安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	O n e 世 界 インカム・オープン (毎月決算コース)	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M 高 格 付 インカム・オープン・ マザーファンド	高格付資源国の公社債を主要投資対象とします。
	D I A M 世界好配当株 オープン・ マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	D I A M U S ・ リート・オープン・ マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インター ナショナル・リート・ インカム・オープン・ マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	各マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に外国債券、外国不動産投資信託証券および外国株式に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 中長期的なリスク水準等を勘案し、各マザーファンド受益証券への基本配分を決定し、投資を行います。 各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として毎月26日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等のうち、原則として利子・配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。また、毎年6月および12月の決算時には、原則として利子・配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。分配金額につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案し委託会社の判断により決定します。但し、分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2021年6月～2026年5月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年6月26日）

◆組入ファンド等

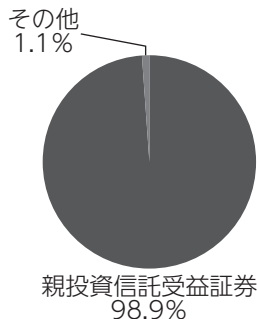
（組入ファンド数：4ファンド）

	第247期末
	2026年6月26日
D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド	49.3%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	24.6
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	15.0
D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド	10.0
その他	1.1

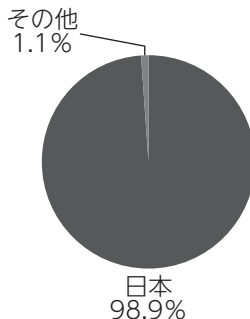
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

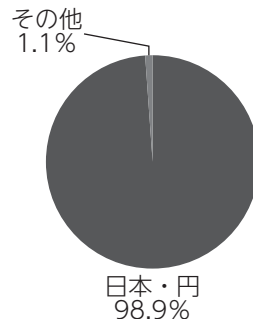
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

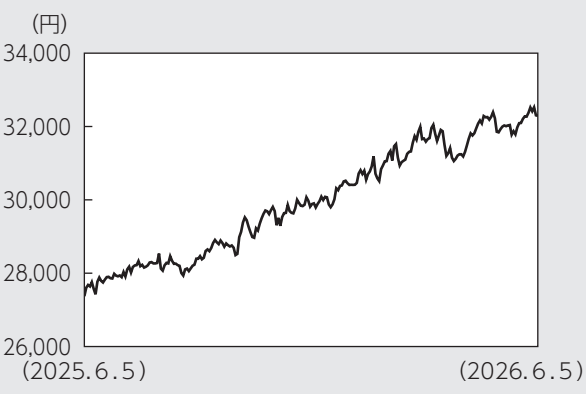
項目	第242期末	第243期末	第244期末	第245期末	第246期末	第247期末
	2026年1月26日	2026年2月26日	2026年3月26日	2026年4月27日	2026年5月26日	2026年6月26日
純資産総額	3,404,446,097円	3,526,869,617円	3,398,058,003円	3,495,766,776円	3,507,696,637円	3,426,879,052円
受益権総口数	2,912,997,150口	2,896,415,560口	2,888,517,575口	2,865,807,071口	2,855,156,042口	2,785,259,049口
1万口当たり基準価額	11,687円	12,177円	11,764円	12,198円	12,285円	12,304円

（注）当作成期間（第242期～第247期）中における追加設定元本額は3,127,771円、同解約元本額は146,960,578円です。

組入ファンドの概要

[D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド]（計算期間 2025年6月6日～2026年6月5日）

◆基準価額の推移



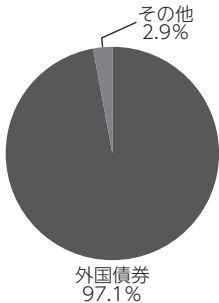
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	23.2%
CANADA 2.75 05/01/27	カナダ・ドル	5.7
AUSTRALIAN 4.75 06/21/54	オーストラリア・ドル	5.3
CANADA 2.25 02/01/28	カナダ・ドル	4.2
CANADA 3.25 12/01/35	カナダ・ドル	3.3
CANADA 3.25 12/01/34	カナダ・ドル	2.9
CANADA 2.5 12/01/32	カナダ・ドル	2.3
NEW ZEALAND 3.5 04/14/33	ニュージーランド・ドル	2.2
AUSTRALIAN 3.75 04/21/37	オーストラリア・ドル	2.1
CANADA 2.75 03/01/30	カナダ・ドル	2.0
組入銘柄数	62銘柄	

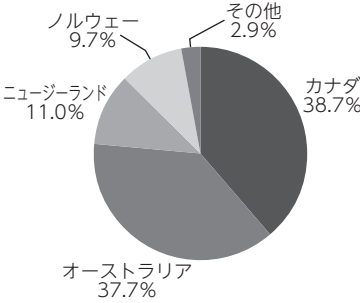
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	3円 (3) (0)	0.010% (0.010) (0.000)
合計	3	0.010
期中の平均基準価額は29,984円です。		

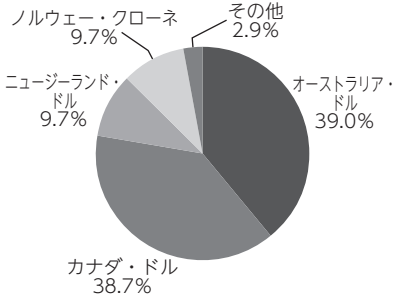
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

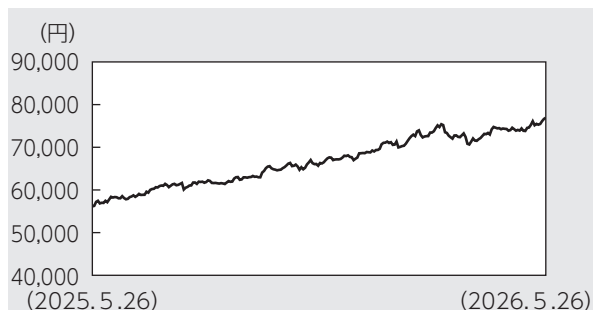


(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、
(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
(注6) 現金等はその他として表示しています。
(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド】

(計算期間 2025年5月27日～2026年5月26日)

◆基準価額の推移



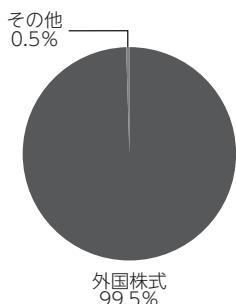
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CISCO SYSTEMS INC	アメリカ・ドル	3.5%
EXXON MOBIL CORP	アメリカ・ドル	3.3
CHEVRON CORP	アメリカ・ドル	2.5
IBERDROLA SA	ユーロ	2.3
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.2
NOKIA OYJ	ユーロ	2.2
ABB LTD	スイス・フラン	2.2
ASTRAZENECA PLC	イギリス・ポンド	2.1
TEXAS INSTRUMENTS INC	アメリカ・ドル	2.1
TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	アメリカ・ドル	2.1
組入銘柄数	85銘柄	

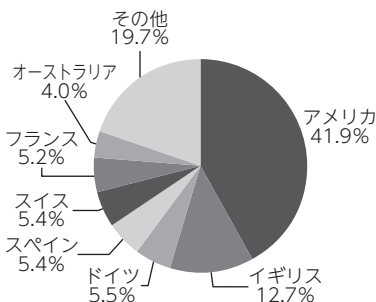
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	82円 (82)	0.124% (0.124)
(b) 有価証券取引税 (株式)	42 (42)	0.063 (0.063)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	17 (17) (0)	0.025 (0.025) (0.000)
合計	141	0.211
期中の平均基準価額は66,773円です。		

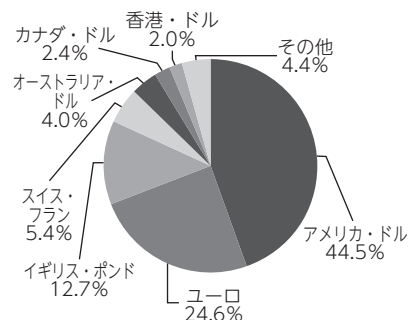
◆資産別配分



◆国別配分



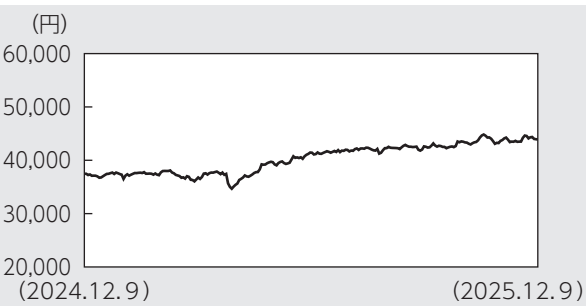
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド]（計算期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

◆基準価額の推移



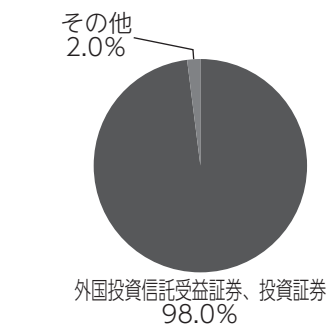
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
VASTNED NV	ユーロ	7.3%
STOCKLAND	オーストラリア・ドル	5.4
LONDONMETRIC PROPERTY PLC	イギリス・ポンド	5.0
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	ユーロ	4.9
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	4.9
PRIMARY HEALTH PROPERTIES PLC	イギリス・ポンド	4.8
HAMMERSON PLC	イギリス・ポンド	4.8
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	4.6
PARKWAY LIFE REIT	シンガポール・ドル	4.6
CT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	4.5
組入銘柄数	27銘柄	

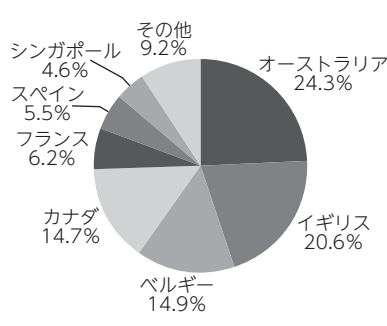
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	11円 (5) (6)	0.027% (0.013) (0.015)
(b) 有価証券取引税 (投資証券)	19 (19)	0.048 (0.048)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (9) (2)	0.028 (0.022) (0.006)
合計	42	0.104
期中の平均基準価額は40,264円です。		

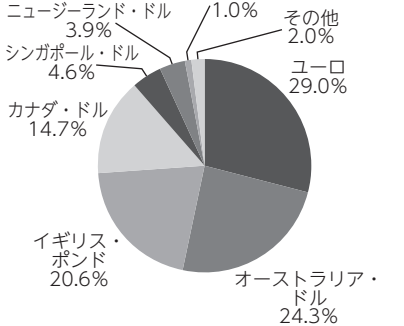
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

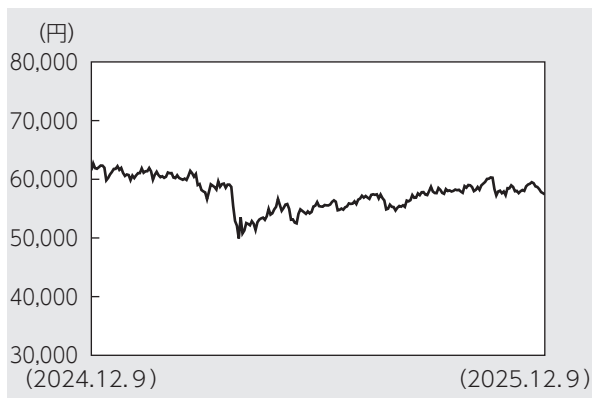
(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAM US・リート・オープン・マザーファンド】

(計算期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

◆基準価額の推移



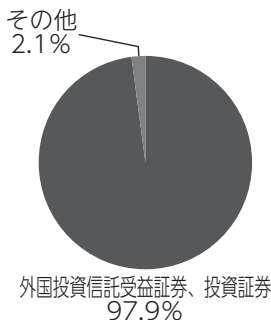
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.9%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.3
BXP INC	アメリカ・ドル	4.7
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	4.5
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.3
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	4.1
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.9
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.8
COUSINS PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	3.6
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.5
組入銘柄数	35銘柄	

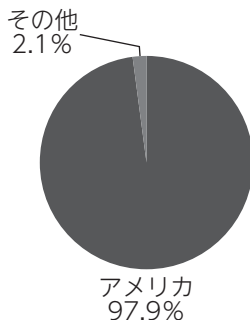
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	26円 (26)	0.044% (0.044)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)	0.012 (0.012) (0.000)
合計	33	0.057
期中の平均基準価額は57,602円です。		

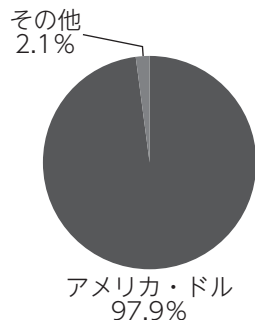
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

